



平成 24 年 4 月 12 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所
 代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄
 (JASDAQ・コード 6432)
 問合せ先 取締役経営企画室長 神山 輝夫
 電話番号 0268-81-1100 (代表)

平成 24 年 2 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 10 月 5 日付「平成 24 年 2 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました平成 24 年 2 月期（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）の通期の業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 24 年 2 月期 通期業績予想の修正（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	39,700	580	△390	△780	△47.76
今回修正予想 (B)	40,265	1,351	916	440	26.94
増減額 (B-A)	565	771	1,306	1,220	—
増減率 (%)	1.4	132.9	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 2 月期)	34,928	71	△872	△1,299	△79.55

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,600	120	△420	△490	△30.00
今回修正予想 (B)	36,715	677	539	295	18.06
増減額 (B-A)	1,115	557	959	785	—
増減率 (%)	3.1	464.2	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 2 月期)	28,639	△1,435	△1,788	△2,946	△180.42

修正の理由

【連結】

米国において、建設機械の需要が増加し予想よりも建設機械の販売台数が増加しました。また、建設機械の補修部品売上高が予想よりも増加しました。外国為替レートでは米ドル・英ポンド・ユーロの為替レートが想定よりも円安に推移しました。以上のことから売上高は予想よりも5億6千5百万円増加し402億6千5百万円になる見通しであります。

利益の面では、販売価格の値上げの浸透、原価低減が進んだこと、売上高の増加及び為替レートが想定よりも円安に推移したことから、営業利益は予想よりも7億7千1百万円増加し13億5千1百万円になる見通しであります。営業外費用において、円高による為替差損の発生を9億9千2百万円見込んでおりましたが、5億4千5百万円減少し4億4千7百万円になることから、経常利益は予想よりも13億6百万円増加し9億1千6百万円になる見通しであります。当期純利益は4億4千万円になる見通しであります。

【個別】

売上高は連結と同様な理由により予想よりも11億1千5百万円増加し367億1千5百万円になる見通しであります。

利益の面では、原価低減が進んだこと、売上高の増加及び為替レートが想定よりも円安に推移したことから、営業利益は予想よりも5億5千7百万円増加し6億7千7百万円になる見通しであります。営業外費用において、円高による為替差損の発生を9億5百万円見込んでおりましたが、4億3千万円減少し4億7千5百万円になることから、経常利益は予想よりも9億5千9百万円増加し5億3千9百万円になる見通しであります。特別損失において、中国子会社への出資金に対して投資損失引当金繰入額1億8千万円を計上することから、当期純利益は2億9千5百万円になる見通しであります。

以上